

「まなびの広場」は那須教育事務所ホームページに掲載されます。
<https://www.pref.tochigi.lg.jp/m56/system/desaki/desaki/nasu-kyouiku01.html>

毎月第3日曜日は「家庭の日」

ふれあい学習推進会議

本会議は、本地区におけるふれあい学習の普及や啓発、推進に向けて、各市町の現状を把握しながら、具体的方策について検討するものです。本年度は「子どもの読書活動の応援」をメインテーマとし、各市町教育委員会の社会教育主事や子どもの読書活動推進担当者、ボランティアとして読み聞かせ活動に携わる方々に、「ふれあい学習推進委員」としてお集まりいただきました。

読み聞かせボランティア「野の花の会」	磯 富美子 氏	大田原市教育委員会生涯学習課	斎藤 史 氏
読み聞かせボランティア「おはなし会コアラ」	荒川 千史 氏	大田原市教育委員会学校教育課	矢口 晃之 氏
読書応援隊「ビブロス」	大塚 友子 氏	那須町教育委員会生涯学習課	富田 幸仁 氏
絵本屋・cafe「ぷーじ&ぷーば」	山元 寿美子 氏	那須町教育委員会生涯学習課	大森 誠 氏
読み聞かせボランティア「かやの実会」	吉田 美弥 氏	那須塩原市図書館「みるる」	田川 絢乃 氏
読み聞かせボランティア「クローバー」	羽田 朋恵 氏	那須塩原市教育委員会生涯学習課	加藤 学 氏

各市町の子ども読書活動推進状況や各団体の活動状況の報告に加え、それぞれの立場から見てくる成果や課題について意見交換を行いました。また「ふれあい学習ネットワーク」の運営方法や議題の選定等について検討を重ねました。



ふれあい学習ネットワーク

1月31日（火）に、那須塩原市 GUNEI 三島ホール・三島公民館において、「子どもの読書活動の応援～えがお つながる 読み聞かせボランティア～」をテーマに、那須地区ふれあい学習ネットワーク兼地域コーディネーター養成研修を開催しました。

今年度は、各地区で活躍されている読み聞かせボランティアの皆さんのネットワークづくり、そして地域コーディネーターの皆さんのネットワークづくりをねらいとしました。当日は、図書や読み聞かせに関わる方や教育関係者、地域コーディネーター等、50名の参加をいただきました。

第1部 各市町の取組の説明

本地区では市町ごとに「子どもの読書活動推進計画」が策定され、取組が進められています。

第1部では、各市町教育委員会のふれあい学習推進委員による、子どもの読書活動推進計画の概要や取組状況についての説明がありました。



第2部 分散会（交流会）

第2部では2会場に分かれ、子どもの読書活動に関する情報交換と、学校と地域の連携・協働に関する情報交換を行いました。参加者からは、「他団体の皆さんとお話できて、ためになり、楽しかった。」といった感想を多数いただきました。

次年度も、引き続き『子どもの読書活動の応援』をテーマに開催する予定です。





頑張る学校・地域！応援プロジェクト



令和4年度「頑張る学校・地域！応援プロジェクト」では、各モデル校が既存の活動を中心に地域学校協働活動を推進するとともに、今後の学校と地域の連携・協働関係構築の素地づくりに意欲を高めていました。本増刊号では両校の取組をまとめ、紹介いたします。

那須町立高久小学校

目的

児童・保護者・地域住民の交流が、より活性化されるきっかけとなるような地域学校協働活動を実施する。

内容

既存の活動や地元団体を生かした地域学校協働活動を実施する。

取組の概要

令和6年度に創立150周年を迎えることを機に、「学校を核とした地域づくり」をより活性化させる手立てを連携会議で協議してきました。本会議には、PTA役員、育成会役員、自治公民館長、学校運営協議会長等、様々な立場の委員が参加し、活発な意見交換を行いました。

地域連携マイスターの廣瀬氏からは、「新しいことを始めるのではなく、今やっていることを充実させ、継続していける体制を整えていくことが大事。また、保護者や地域の人に関わる場合は、大人にとって楽しいことをもっと考えていきましょう。楽しんでいる大人の姿（人間関係）を見せることは、子どもたちに地域や人のつながりのよさを感じさせ、子どもたち自身を成長させることにつながる。」と、御助言をいただきました。

本事業での取組が、今後150周年記念事業や地域学校協働活動、そして人々の交流活性化につながる一助になればと思います。



創立150周年を周知する横断幕



連携会議（オンライン）の様子

那須塩原市立黒磯中学校

目的

地域の一員として自覚をもち、主体的に地域学校協働活動に参画する生徒を育む。

内容

生徒が、地域のよさや人々のつながりが実感できる地域学校協働活動を実施する。

取組の概要

地域の様々な教育力を普段から取り入れて、生徒の活動に生かしている本校の地域学校協働活動ですが、本事業では「生徒が地域の一員として自覚をもち、主体的に参画できる」ように、様々な視点から協議しました。

新型コロナウイルスの影響により、夏に開催予定だった盆踊り大会は中止になりましたが、事前に盆踊り実技講習会を行うなど、積極的に地域の方々と交流を行いました。そのような中で研修会では、多くの地域の方々に参加していただき、中学生と楽しく活発な熟議を行いました。

地域連携マイスターの廣瀬氏からは、「地域の良質な大人が、よい学校とよい生徒を育てている。本校は十分それらが達成されており、今後も学校と地域のよい関係づくりに努めていただきたい。地域の住民が、生徒たちと対話ができる。このことが『地域の教育力』である。」と、御助言をいただきました。

次年度は、盆踊り大会が盛大に開催できることを願います。



盆踊り実技講習会の様子



連携会議の様子

令和2年度から始まった「頑張る学校・地域！応援プロジェクト」は、本年度をもって終わりますが、那須教育事務所では今後も市町教育委員会と連携しながら、学校と地域の連携・協働に関する支援に努めてまいります。引き続きよろしく願いいたします。